

現代中国語文法論 (I)

—ロシア語から見た—

滝 本 可 紀

Grammar of Contemporary Chinese
—from the viewpoint of Russian

Yosinori TAKIMOTO

Abstract

Chinese has not the inflectional grammar but has only the syntactical grammar. On the other hand Russian has the typical inflectional grammar. Chinese is the analytic language. Russian is the synthetic language. There are many and much differences between them concerning grammar. I want to study grammar of Chinese through these differences. "Практическая Грамматика Китайского Языка", Горелов, "Учебник Китайского Языка", Задоевко, Хуан Шу-ин are the Russian materials of this treatise.

現代中国語の特徴はいくつかあげることができると思われるが、その最大の文法的な特徴は屈折 (inflection) がないことであろう。一方、インド・ヨーロッパ語族の中で著しく屈折が見られる言語の一つとして、ロシア語があげられると思われる。極めて analytic な言語である中国語と、synthetic なロシア語とでは、文法的な観点から、大きく異なっていると言える。

一つの言語の文法を問題にするさい、文法の研究者の母国語がどのようなものであるかは、その研究者の方法論がどのようなものであるかと比較すれば、原理的には問題にならないことである。然し、実用文法、又は教育的見地から書かれた文法書に於ては、それらの読者の母国語がどのようなものかによって記述のさいのウエイトの置き方、説明の仕方が異なることは当然であり、又関心の向う所も同じではない。このような点から考えると、ロシア語という典型的な Synthetic Language から典型的な Analytic Language である中国語を見るさい関心の持たれる現象には、この二つの言語とは又著しく異なる言語の使用者である我々の参考になる点があると思われる。本論文では、「Практическая Грамматика Китайского Языка」В.И. Горелов ВНЕШТОРГИЗДАТ

Москва 1957:

「Учебник Китайского Языка」Т.П. Задоевко, Хуан Шу-ин. Наука 1973.

以上の書を中心として、ロシア語の使用者（必ずしもロシア人とは限らない）にとっての中国語文法を紹介し検討してみたい。そのため最初に「Практическая Грамматика Китайского Языка」の内容を記すことにする。

著者のことば

本書は現代中国語文法書であり、実用上の目的を目指している。本書は体系的な文法教材として、中国語を学んだり教えたりしている人、特に大学専門学校の学生及び教員に使用することができるであろう。それと同時にそれは又、仕事上、中国語に関係している人、特に翻訳関係の仕事についている人の参考書として役立つことができる。

この実用文法書は二部に分かれている。第一部は形態論と単文のシンタクスの基本的テーマから成り立っており、第一部の最後に複文の初歩的な情報が与えられている。第二部はいくつかのテーマを除いて、複文のシン

タックスを問題にしている。材料をこのように分けたこと、各テーマの配列及びテーマ内の各問題の配列は、ロシア人の学生が現代中国語の文法を最も速くマスターするという基本的課題からでて来る方法論的考慮にもとづいて決定されている。

中国語の文法現象を説明する際、私はそれに対応するロシア語の文法現象と比較することに努めた。引用文は主として現代中国の文学作品及び社会科学の著作、さらに中国語文法の専門書からもとられている。本書は種々な読者を想定しているため、主として中国語を学習し始めたばかりの人を対象とした簡単な例文と並んで、更に複雑な例文も引用してある。中国語を学習している人に若干の翻訳上の熟練を得るのに役立つように多くの篇の中で、中国語からロシア語への翻訳上の説明がなされている。

本書の末尾に詳細なテーマごとの索引がある。この索引は独立した言語学科として中国語文法の系統的コースを作るさい、教師により利用できると思う。

付録として補助語の索引及び文型のリストをのせた。本書の審議、批評していただいた諸氏に心からの感謝をささげる。

B. Горелов.

動詞述語を伴う単文

§ 1. 平叙文。ロシア語では単語のシンタックス上の機能は、通常、文中でその単語が占める位置に関係しない。それは文の成分が一定の形態一文法上の語尾を持っているからである。(例えば、主格は主語を表わす語尾を有している) それ故、ロシア語では文中で自由な語順が可能である。

中国語では文の成文は通常一定の形態一文法上の語尾を持たず、単語のシンタックス上の機能は、その単語が占める文中の位置によって定まる。それ故、中国語には文中に一定の語順が存在する。

動詞述語を伴う単文は通常、次の語順を持つ。

主語—述語—補語

文型

主	述	補
我	看	书
Я	читаю	книгу

この語順を勝手に変えることは許されない。何故ならそれによって必ず文の意味が変化するからである。例え

ば主語と補語の位置の交換は文全体の意味の完全な変化を伴ってしまう。ロシア語ではこの様な事は特別な場合にのみ生ずるものである。(例えば、Мать любит Дочь. の様な文である。)

例文

1. 他写信。Он пишет письмо.
2. 我们吃肉。Мы едим мясо.
3. 他们吃鱼。Они едят рыбу.
4. 农民种地。Крестьяне возделывают Землю.
5. 我们保卫祖国。Мы защищаем Родину.

中国語の動詞の大部分は他動詞である。それ故、動詞述語を伴う単文には通常、補語が存在し、文型 主—述—補に示されている。このさい、しばしば補語としてその動詞の最も典型的な最も一般的な目的語が出て来ることに注意することが重要である。例えば吃饭のような語の結合は本来、煮た米を食べることを意味しているが、中国人にとってこれは最も普通食物であるため、一般に食べることを意味するようになる。写字という語の結合は字を書くことを意味しているが、ここから一般に書くことを意味する、ある具体的な目的語が示されている時は、それは一般的な目的語に取って代わる。何故なら、今や一般的な目的語の必要性がなくなってしまったからである。例えば、吃肉、写信である。

ロシア語では動詞述語の場合、その動詞によって示される動作が生ずる時に関係なく、ただ一つの否定詞 не が使用される。中国語では二つの否定詞、不と没(没有)が使われる。不は現在及び未来に使われ、没(没有)は過去に使われる。(動詞、有は例外であり常に否定詞没を伴って使われる) ロシア語と中国語の差異の一つはこの点にある。

例文

1. 我不看书。Я не читаю (не буду читать) книгу.
2. 我没看书。Я не читал книгу.
3. 他不吃肉。Он не ест (не будет есть) мясо.
4. 他没吃肉。Он не ел мяса.

中国語ではつよめの小詞、都は広く用いられている。それはまとめる意味を持っている。コンテキストにより文の他の語と結びついて、都はロシア語の次の語に翻訳できる： всё, все, всегда, везде, во всех случаях 等 (§§ 5, 8 を見よ)

例文

1. 他们都看书。Они все читают книгу.
2. 我们都保卫祖国。Мы все защищаем Родину.

ロシア語では次のように言うことができる: „Все они читают книгу“, のように文の前に все を置くことができる。中国語ではこれをしてはいけない。何故なら小詞、都は常に述語の前にあるからである。

動詞述語を伴う単文にはしばしば副詞、也や还が用いられる。

例文

1. 我还没有看书。Я еще не читал книгу.
2. 他也没有看书。Он тоже не читал книгу.
3. 我们还没吃鱼。Мы еще не ели рыбу.
4. 他们也没吃鱼。Они тоже не ели рыбу.

副詞也や还是常に述語の前にある。

§ 2. 疑問文。動詞述語を伴う単文において疑問は意味内容によって次のような方法で表現される。

a) 文中で述べられている動作に関する疑問は動詞述語を否定詞無しと付きで二度くり返すことで表現される。

例文

1. 你看不看书? Читаешь ли ты книгу?
2. 他有没有钱? Имеет ли он деньги?

否定詞付きの述語は補語のあと、文の最後に置くことができる。

例文

1. 你看书不看?
2. 他有钱没有?

文の終りに否定詞を伴う述語を置くときには補語をくりかえしても良い。

例文

1. 他看书不看书?
2. 他有钱没有钱?

動詞述語文の疑問はしばしば強調の小詞、是を用いて表わされる。是はこの場合述語の前に置かれ、否定詞を伴って二度くり返される。

例文

1. 你是不是看书?
2. 他是不是有钱?
3. 存仁, 船究竟是不是大后天开? (巴)

Пунь-жэнь, пароход-то, в конце концов, отправится через два дня или нет?

b) 陳述の個々の事柄に関する部分的疑問は疑問副詞及び疑問代名詞によって表わされる。ロシア語では普通、疑問詞は文の最初に置かれる。中国語では疑問詞はシンタクス上の機能に应ずる場所を占める。

例文

1. 他看什么书? Какую книгу он читает?
2. 你在哪儿住? Где ты живешь?
3. 大伯! 我们什么时候回来? Дядя! Когда мы вернемся (сюда)?

c) 陳述全体に関する一般的疑問は疑問小詞吗 (么) を用いて表わされる。これは文末に置かれる。

例文

1. 你看书吗? Ты читаешь книгу?
2. 我们坐火车去么? (魯) Мы поедем поездом.
3. 你看見你二哥哥吗? (巴) Ты видишься со своим старшим братом?

d) 互に排除しあう二つの物又は動作に関する選択式疑問は結合の意味を共有している強調の小詞、是、不是を用いて表わされる。このさい小詞は次のように用いることができる。

I. 二つの同種の文成分の一つに小詞を用いる。(小詞は一般に第二文成分の前に置く)

例文

1. 你吃米饭, 是吃面包? Ты ешь рис или хлеб?
2. 你教中国书, 还是教俄国书? Он преподает китайский или русский язык?
3. 那个小学生看书, 还是写字? Тот ученик читает или пишет?

II. 同種の文の成文の両者に小詞を用いる。(小詞は文の成文の各々の前に置く)

例文

1. 你是吃米饭, 是吃面包?
2. 你是有书, 还是有本子?

e) 通常、何らかの単独の事物に関する疑問の極めて短かい型である簡潔な質問は、疑問小詞、呢で表わされる。時には簡潔な疑問は疑問詞、吗 (么) で表わされることもある。

例文

1. 他看书, 你呢? Он читает книгу. А ты?
2. 我吗? 你等着看吧 (巴) Я? Потом увидишь.
3. 那么我呢? 我到什么地方去呢? А я? Куда я поеду?

§ 3. 勧告文。勧告や禁止を表わすために動詞述語単文に普通用いられる文法的手段のいくつかを示そう。

a) 勧告は語気詞、吧で表わされる。

例文

1. 你赶快去吧! Поскорее уходи!

2. 你明天还是早点来^吧 (巴) Ты завтра все-таки пораньше приди.

3. 我们一同去^吧 (矛盾) Давайте пойдем вместе.

b) 禁止は否定の不要 (別), 不用によって表わされる。

例文

1. 你们^别说话! Не разговаривайте!

2. 你^{不要}想我 (巴) Не думай обо мне.

3. 你要好好地读书, ^{不要}学他们底榜样。(巴) Ты должен хорошенько учиться. Не подражай им.

§ 4. 動詞述語を伴う単文の強調ヴァリエント。

このタイプの文では強調の小詞, 是と的が使われる。是は通常動詞述語の前に置かれ, 的は通常文の最後に置く。(§10の形容詞述語を伴う単文の強調ヴァリエントと比較せよ)

例文

1. 她^是不了解我的。Она ведь не понимает меня.

2. 我也是^很爱他的。Я ведь тоже очень люблю его. 強調の小詞, 是だけが使用される場合もある。

例文

中国人民革命^是胜利了, 中国劳动人民^是解放了。(刘少奇) Китайская Народная революция действительно победила, трудящиеся Китая действительно стали свободными.

注 このテーマの続きは §§85-88 を見よ

合成名詞述語を伴う単文

§ 5. 平叙文。中国語では合成名詞述語は通常, 補助詞, 是と結合して名詞又は代名詞で表わされる。合成述語の補助詞, 是は連辞と言われ, その働きは主語と述語を同一視したり, 主語を何らかのカテゴリーに所属させることにある。合成述語中の名詞又は代名詞は述語の名詞部分と名づけられる。(名詞, 代名詞の代りに名詞句, 節の場合もある。§71, §125を見よ) 名詞部分が主要な役割を果たす。その働きは述語の基本的内容を伝え, 主語に関して云われていることを表わす。

合成名詞述語を伴う単文は常に次のような語順を持つ。主語—連辞—述語名詞部分

文型

主	述	
	連 辞	名詞部分
他	是	学 生

例文

1. 我们是^共产^党。Мы—коммунисты.

2. 他是^聪明^人。Он—умный человек.

3. 今天是^礼拜。Сегодня—воскресенье.

4. 牛^是一种哺乳动物。Корова—млекопитающее животное.

5. 磨石口^是个好地方。Мошькоу—хорошее местечко.

6. 青春^是美丽的东西。Молодость—прекрасная вещь.

連辞, 是はどのような時制にも使える。この点ではロシア語の連辞 быть は現在には普通使われない。合成名詞述語ではすべての時制で否定詞, 不が使われる。否定詞は常に連辞の前に置かれる。

例文

1. 他^不是教員。Он не преподаватель.

2. 这^不是一句空話。(巴) Это не пустая фраза.

3. 找房子^并不是容易的事。(巴) Искать квартиру вовсе не легкое дело.

強調小詞, 都, 副詞, 也, 又は文中では連辞又は否定詞のすぐ前に置かれる。

例文

1. 我们^都是二年级的学生。Мы все студенты второго курса.

2. 他^还是一年级的学生。Он все еще студент первого курса.

3. 这^也不是很容易的事。Это тоже не легкое дело.

(注 1. 合成名詞述語と複合名詞述語 (§78) と区別しなくてはならぬ。2. 連辞の是と強調の是 (§4, §10を見よ) とを区別しなければならぬ。)

§ 6. 疑問文。合成名詞述語を伴う単文の疑問は意味内容によって次のような手段によって表わされる。

a) 文中の事物の本体に関する疑問は結辞を二度くりかえすことで表わされる。そのさい否定詞無しと, 否定詞を伴う。

例文

1. 他^是不^是学生? Ты студент или нет?

2. 他^是不^是北京人? Он пекинец или нет?

否定詞のついた連辞は述語の名詞部分の後, 文の末尾に置くことができる。

例文

1. 你是^学生不^是? Ты студент или нет?

2. 他是^北京人不^是? Он пекинец или нет?

b) 陳述の個々のディテイルに関する部分的疑問は、疑問代名詞、副詞によって表わされる。

例文

1. 他是几年级的学生? Он студент *какого* курса?
2. 他是哪儿的人? Ты из *каких* мест?

c) 陳述全体に関する一般的疑問は疑問小詞、吗 (么) で表わされる。

例文

1. 你是学生吗? Ты студент?
2. 这本书是你的吗? Эта книга *твоя*?
3. 他不是王三吗? Он не Ван-сань?

d) 事物の本質に関する互に排除しあう陳述に関する選択的疑問は、結合の意味を共有している是と还是の強調小詞によって表わされる。

例文

1. 你是工人, 是农民? Ты рабочий *или* крестьянин?
2. 他是中国人, 还是日本人? Он *китаец или* японец?

§ 7. 合成名詞述語を伴う文の強調ヴァリエント。このタイプの文では強調小詞、就、便が使われる。小詞は常に連辞の前に置かれる。

例文

1. 这就是我们的任务。Это *и* есть наши задачи.
2. 他就是我底希望。Он—это моя надежда.
3. 四肢就是两手和两脚。Четыре конечности—это *и* есть две руки и две ноги.

形容詞述語を伴う単文

§ 8. 平叙文。形容詞述語は事物がどのようなものであるか、主語によって表わされている事物の質的狀態を示している。性質述語は形容詞によって表わされる。中国語では、形容詞は独立して連辞の助けなしで述語を表わすことができる。

文型

主	述
屋子	很小

形容詞述語を伴う単文では、程度の副詞、很 (§89 を見よ) を伴う形容詞が使われることが極めて多い。

例文

1. 山高。Гора высокая.

2. 桌子很大。Стол большой.

3. 空气寒冷。Было холодно.

3. 今年夏天很热。В этом году жаркое.

4. 她美, 她年青, 她要強, 他勤儉。Она красива, она молода, она настойчива, она трудолюбива и бережлива.

形容詞述語を伴う単文ではどのような時制にも否定詞、不が用いられる。

例文

1. 这座山不高。Эта гора невысока.
2. 那个东西並不坏。Та вещь вовсе не плоха.
3. 你真不聰明。Ты действительно не умен.

形容詞述語を伴う単文ではしばしば、強調小詞、都や也、还が用いられる。

例文

1. 这些東西都很好。Все эти вещи хороши.
2. 那个东西也很好。Та вещь тоже хороша.

小詞、都、副詞、也、还是常に述語の前に置かれる。

§ 9. 疑問文。形容詞述語を伴う単文では疑問は、意味内容によって次のような手段で表わされる。

a) 文中で述べられている性質に関する疑問は、否定詞つきと無しで、形容詞述語を二度くりかえすことで表わされる。

例文

1. 这些東西好不好? Эти вещи хороши или нет?
2. 你回去路远不远? Далеко ли твой обратный путь?

文中で問題となっている質に関する疑問は強調の小詞、是によっても表わされる。この場合、述語の前に置かれ否定詞がくりかえされる。

例文

这些東西是不是很好? Хороши ли эти вещи?

b) 陳述の個々のディテイルに関する部分的質問は疑問代名詞及び副詞によって表わされる。

例文

1. 哪一个本子小? Какая тетрадь маленькая?
2. 那个东西多大? Насколько велика та вещь?

c) 陳述全体に関する一般的な疑問は疑問小詞、吗で表わされる。

例文

这个東西当真很好吗? Эта вещь действительно хороша?

d) 互に排除しあう選択式疑問はその中に結合の意味を有している強調小詞、是、还是で表わされる。

例文

这个东西是好还是坏? Эта вещь хорошая или плохая?

§ 10. 形容詞述語を伴う単文の強調ヴァリエントが存在する。このタイプの文では強調の小詞、是及び格的が用いられる。前者は述語の前、後者は述語の後に置かれる。

例文

1. 屋子是窄小的。Комната была маленькая.
 2. 運動基本上是健康的。Ведь движение в своей основе здоровое.
 3. 愛情是很纯洁的。Ведь любовь чистая.
- 強調の小詞、是が一つだけ使われる場合もある。

例文

你们是这样忙。Вы ведь так заняты.

量詞

§ 11. 現代中国語には量詞といわれる特殊な補助詞が存在する。量詞の役割は、名詞に固有ないずれかの量詞を使って、それがどの種のものに属しているかを示すことである。中国語には総計で百以内の量詞が数えられる。

下に例として最も使われる若干の量詞を挙げておく。

张 開いた平らな表面を持っている物の種類を示す、(卓子、票、絵、地図等)

把 把手を持っている物の種類を示している。(ナイフ、扇) 椅子にも使われる。

辆 車輪で移動する物を示している。(車、戦車等)

个 いずれにも入らない種類のものであることを示す。(特別の種類に入らない名詞すべて: 人、ノート、問題、その他多数)

現代中国語では量詞、个はますます広く使用されるようになり、いくつかの他の量詞に代わり、じょじょに一般的な事物の指標になりつつある。

§ 12. 量詞は普通名詞にだけ使われる。量詞が使われるのは名詞に代名詞や数詞によって表わされる定語がある場合のみである。量詞の使用の特性についてもっと詳細に見よう。

I 量詞は名詞につく定語が次のような場合に用いられる。

- a) 個数詞 例 三个人
- b) 序数詞 例 第三个人
- c) 指示代名詞 这, 那, 例 这个人, 那个人
- d) 疑問代名詞 几 例 几个人?
- e) 不定代名詞 几 例 这几个人
- f) 定代名詞 每 例 每个人

一つの名詞に二つの定語、即ち指示代名詞及び個数詞、又は指示代名詞及び不定代名詞を持っている場合、量詞は第二の定語の前に立つ。

例: 1. 这两本书, 2. 这几本书

(注: 文中で一人又は一つの物が述べられている場合、その名詞に個数詞の定語がない時に量詞が使われる場合がある。)

例文

1. 你们以為他是个坏孩子。Вы считаете, что он плохой ребенок.
2. 他是个会享福的人。Он человек, умеющий наслаждаться жизнью.

II 量詞は名詞に付く定語が次のような場合用いられない。

a) 測定単位を示す名詞と個数詞の組合せ

例 五斗米, 两碗茶

b) 指示代名詞, 这又は那と不定数を表わす詞, 些との結びつき

例 这些书, 那些本子 (量詞, 个は例外である。例えば这些人と这些个人と言うことができる)

c) 疑問代名詞 多少 例 多少人

量詞は名詞と結びついてのみ使われるから次のような場合にも使うことができない。

a) 抽象的勘定にさいして、何故なら、この場合個数詞は名詞と結びついていないから。一, 二, 三……。

b) 指示代名詞, 这及び那が文中で主語の役割を果たしている場合、何故ならそれらは名詞と結びついていないから。例 这是书。那是本子。

最後に次の事を言うておかなければならない。現代中国語では量詞と並んで、測定の単位を表わす語が存在する。例 鋼筆五枝, 鉛筆十枝, 这两本书, 我要这本, 不要那本。

代名詞

§ 13. 代名詞とは名詞、形容詞、数詞に代って使われる品詞である。代名詞を使って話者は一定の事物や特徴の名をあげないで事物や特徴を示したり、それらを聞いたりそれらをまとめることができる。中国語の代名詞はいくつかのグループに別けることができる。

§ 14. 1 人称 我

2 人称 你

3 人称 他

人称代名詞複数形は単数形に們をつけることでつくられる。

一人称 我们

二人称 你们

三人称 他们

(接尾辞, 們は若干の名詞の複数形をつくるにも用いられる。)

これ以外にも若干の人称代名詞が存在する。

a) 一人称複数を示すために我们与共に咱们も用いられている。この二つの代名詞の間には意味の差がある。咱们は常に二人称を含み你と我, 你们と我, 我与你, 我与你, 一方我们の方は二人称を含まないことが多く, 他と我, 他们と我, 我与他, 我与他们的意味である。

b) 単数二人称の普通の形, 你と並んで敬語の形, 您が存在する。

現代中国語には三人称の代名詞, 他にはいくつかの他の形がある。他, 她 (人間を表わす名詞に使う) 牠 (生物を表わす名詞に使う) 它 (不活動体を表わす名詞に使う) 人称代名詞の使用の若干の特性を示さなければならない。

a) 不活動体を表わす名詞に使われた場合, 三人称他, 他们是主語として使われない。補語として他だけが使われる。この場合, 文脈により単数にも複数にも使われる。

例文

这些果子还没熟, 你别吃他。Эти фрукты еще не созрели. Не ешь их.

不活動体を表わす名詞を示すために, 文章では它や它们という三人称代名詞の他の形も使われ, これが現在では大勢を占めつつある。

c) 単数名詞が団体を表わす場合, それを示すさい, 複数形の代名詞が使われることがある。例えば军队という単語の場合, 他们という複数形代名詞が使われることがある。

§ 15 物主代名詞は人称代名詞に接尾辞, 的をつけることでつくられる。

単数

複数

一人称 我的

我们的

二人称 你的

你们的

三人称 他的

他们的

自己的物主代名詞に入れる。物主代名詞を使用するさい注意しなければならない一つの特性がある。物主代名詞は関係の深い語や個々の人或いは人間の集合の定語となった場合, 接尾辞, 的を加えないことができる。かくて, この場合人称代名詞と形の上では何の異いもない。例文 我父親, 我们民族

§ 16 指示代名詞

1. 这, 那 2. 这样, 这般, 那样, 那般

指示代名詞を用いるさいの若干の特性を示そう。

a) これらの代名詞は単数の事物をさす場合にはそれに対応する量詞と共に用いられる。複数を指す場合には不定の複数のしるし, 些という単語が用いられる。例 这本书, 这些书

b) 指示代名詞は文中で主語の機能を果す場合, 量詞なしで用いられる。例 这是本子。

c) 指示代名詞が定語の役割か補語の役割を果している場合, 量詞と共に用いられる。

例文

1. 这个东西很好。Эта вещь хороша.

2. 我要这个, 不要那个。Мне нужно это, не нужно то.

§ 17 疑問代名詞

谁, 谁的, 什么, 哪, 几, 多少

疑問代名詞の使用にさいしては, 次のいくつかの特性に注意を向けねばならない。

a) 代名詞几は答えに 10 を越えない数が予想される場合に使われ, 多少は答えが 10 以上の場合に使われる。

b) 什么是主語及び補語としては ロシア語の что に当り定語としては какой に当たる。

c) ロシア語の代名詞 какой は広く用いられる。それは事物の特徴について訊ねるときや同一の事物の中でそれがどのような地位を占めるかを明らかにしなければならぬ時に用いられる。中国語の什么是事物の特徴を聞く場合にのみ用いられる。いくつかの同一事物のどれが問題となっているかを明らかにせねばならぬ時は, 哪や几が使われる。

例文

1. 你有什么東西? Какие вещи у тебя есть?

2. 这是哪一年的事情? В каком году это было?

3. 今天是星期几? Сегодня какой день недели?

§ 18 定代名詞

每, 自己, 別的, 一切, 大家, 大伙儿

§ 19 不定代名詞

几, 某, 什么

§ 20 關係代名詞。これは疑問代名詞と同一である。だがこれは疑問のためではなく文を結びつけるのに用いられる。

例文

1. 要什么, 給什么 Что нужно, то и дай.

2. 要多少, 給多少 Сколько нужно, столько

и дай.

動詞

動詞とは事物の運動又は状態を示す品詞である。例走, 坐, 活

中国語の動詞は人称で異なったり, 数で変化したりすることはない。現代中国語の動詞の体一時制, 相, 法の形は殆んどない。このことから中国語には動詞の変化の発達したシステムは存在していないといってさしつかえないであろう。

文中で動詞は主として述語としての役割を果している。これが動詞のシンタックス上の機能である。それ以外に動詞は定語及び状況語にも用いられる。ある場合には動詞は主語の機能も果している。

§ 22 中国語には動詞の時制の型の発達したシステムが存在しないので, 動詞によって表わされる動詞の時はいしばしば文脈によって確定され, 又特に単語の使用によって, 即ち副詞及び副詞的名詞によって確定される。

例文

1. 他从前作工, 现在不作工, 可是将来又要作工。
Он раньше работал, сейчас не работает, но в дальнейшем будет опять работать.
2. 我就回来 Я тотчас же вернусь.
3. 他才来 Он только что пришел.
4. 这个决议将发生巨大的作用。Это решение впоследствии сыграет огромную роль.
5. 我曾研究中文。Я в прошлом изучал китайский язык.

動詞によって示される動作の時を明確化するために中国語は語彙的手段とならんで, 文法的手段を有している。次にそのいくつかの例を検討しよう。

a) 接尾辞, 了は動詞に体一時制の意味を加える。この場合, 動作が過去(時)に起こりそれが完成(体)していることを示している。

例文

1. 他来了。Он пришел.
2. 祥子病了。Сян-цзы заболел.
3. 我在中国住了十年。Я прожил в Китае десять лет.
4. 我们争取了胜利。Мы завоевали победу.

接尾辞, 了を加えられた動詞はその意味から(完成した動作を意味する)否定詞を伴うことはない。それは又可能, 必然, 希望を表す能願動詞とは用いられない。

b) 否定詞, 不は通常, 動詞によって表わされる動作が現在又は未来に行われる場合に, 動詞につけて用いら

れる。

例文

1. 他不念书。Он не учится.
2. 我不来。Я не приду.
3. 你不晓得。Ты не знаешь.
4. 我不让你走。Я не позволю тебе уйти.

連辞, 是や能願動詞には否定小詞, 不がすべての時制に使われる。

c) 疑問小詞, 没(有), これは動詞によって表わされる動作が過去に行われた時に通常用いられる。

例文

1. 他没来。Он не приходил.
2. 我没有看这本书。Я не читал эту книгу.
3. 我並沒有哭。Я вовсе не плакала.
4. 他昨天没有来, 今天还是没有来, 明天也许不来了。
Он вчера не приходил, сегодня опять не пришел, завтра тоже возможно не придет.

動詞有に対しては没がすべての時制に使われる。明白, 知道や能願動詞に対しては, 特別な場合を除いて没(没有)は使われない。

§ 23 いくつかの動詞によって表わされる動作の時間的順序は半ば語彙的, 半ば文法的手段一就, 便, 才によって明確化される。これらの小詞は同種の動詞述語間に関係づけると共に, 文中に, 時間における動作の順序を明確化する付加的な語彙の意味を加える。

就, 及び便是第二の動作が第一の動作の直接すぐ後に実行されることを示している。才は第二の動作は第一の動作の完成した後に始めて実行されることを強調している。

例文

1. 我吃完了早饭就到学校里去了。(тогда же)
2. 我吃完了早饭才到学校里去了。(только тогда)

ロシア語への翻訳の際, 就や便の語彙の意味は必ずしも訳す必要はない。

補語

§ 24 動作の目的や動作の道具を表わしたり, 又は量的関係で動作を明確化する文章の二次成分を補語という。中国語では補語は主として次のような手段であらわされる。

a) 名詞を用いる。普通名詞も固有名詞も補語の機能を果たすことができる。

例文

1. 我写信。Я пишу письмо.

2. 去年他访问了上海。В прошлом году он посетил Шанхай.

b) 代名詞を用いる。人称, 指示, 疑問代名詞が通常補語の機能を果す。

例文

1. 我見着他。Я видел его.

2. 我要这个, 不要那个。Мне нужно это, не нужно то.

3. 你有什么? Что у тебя есть?

c) 数量詞

例文

1. 我等了两个钟头。Я ожидал два часа.

2. 他去了两趟。Он ходил два раза.

d) 名詞句 例文 我们当中没有会说法国话的。Среди нас нет умеющих говорить по-французски.

e) 節 例文 我知道村子上的人都很恨他。Я знал, что все в деревне ненавидят его.

§ 25 ロシア語では直接及び間接補語は異なっている。直接補語は通常前置詞なしで対格で表わされる。間接補語は前置詞なしで対格以外の斜格や、前置詞つきの種々の格で表わされる。

中国語には名詞及び代名詞の格変化が存在していない。格語尾が存在していないため直接と間接補語とを形式上分ける事ができない。中国語の直接及び間接補語に就いては個々のケースで述語と補語との間に存在する具体的な意味上の関係から出発するか、文中の補語の位置や介詞の意味を考慮に入れたりして、条件的にだけ言うことができるだけである。

ロシア語では運動の量や物の質的な特徴を明確化し、どのくらいの長さ、何回、何回で、の様な質問に対する答えとしての名詞と数詞の結合は述語の前にも後にも置くことができる。それらは通常、状況語と見なされ分量の状況語と呼ばれる。

中国語ではこの種の語の結合はしばしば数量詞と呼ばれ少数の例外を除いて述語の後に置かれる。それらは補語と見なされねばならず、数量補語と呼ばれる。

§ 26 中国語の補語は通常、述語の後に置かれる。

例文

1. 马吃草。Лошадь ест (что?) траву.

2. 我已经告诉他。Я уже сказал (кому?) ему.

3. 觉新站了几分钟。Пьюэ-синь постоял (как долго) несколько минут.

4. 他重複说了两遍。Он повторил (сколько раз?) два раза.

5. 他比我大五岁。Он старше меня (на сколько?) на пять лет.

6. 这个东西比那个东西大三倍。Этот предмет больше того предмета (во сколько раз?) в три раза.

文中に二つの補語が存在する場合、それらは同時に述語の後に置くことができる。述語の後に二つの補語が置かれる若干の場合を見てみよう。

1. 文中に二つの補語が存在しその一つは что? (何を) に対する答え、他の一つは кому? (誰に) に対する答えの場合、述語の後に二つの補語を同時に置くなり、次のようなバリエーションが可能である。

a) 始めに誰にに対する答えの補語と次に何をに対する答えの補語

例文

我送你一个东西。Я подарю (кому?) тебе (что?) одну вещь.

b) 始めに何をに対する答えの補語、それから誰にに対する答えの補語、だがこの場合 кому? (誰に) に対する答えである補語の前に介詞、給が置かれねばならない。

例文

我写一封信给他。Я пишу (что?) письмо (кому?) ему.

II. 文中に二つの補語が存在し、その一つは что? (何を) に対する答えであり、もう一つはどのくらいの期間? 又は何度? に対する答えの場合は、述語の後に同時にそれらを置く時、次のようなバリエーションが存在する。

a) 始めに誰に? に対する答えの補語と次に何度? に対する答えの補語

例文

我告诉他好几次。Я говорил (кому?) ему (сколько раз?) много раз.

b) 始めにどのくらいの期間? に対する答えの補語、それから何を? に対する答えの補語。

例文

我念了三年中国书。Я изучал (как долго?) три года (что?) китайский язык.

始めに何を? に対する答えの補語、次にどのくらいの期間? に対する答えの補語、だがこの場合述語は二度くり返されねばならない。

例文

我念中国书念了三年。Я изучал (что?) китайский

язык (как долго?) три года.

上記の中国語は次のように書き変えることができる。
我念了三年的中国书。だがこの場合、数量詞三年は補語中国书に対する定語の役割を果して、文全体は、逐語的には次のような意味である。Я изучал трехгодичную китайскую книгу.

(このテーマの続きは §§ 47-49 を見よ)

定語

§ 27 定語とは文の二次的成分で事物の性質や特徴を示したり他の呼び名で事物を明らかにしたりするものである。定語は被定語に先行する。これは中国語のシンタックス上の最重要な規則の一つである。(同位語と呼ばれる特別のタイプの定語は例外である)

文型

定語	補助語	被定語
儿子	的	先生

注。ロシア語では他の名詞と結びついて測定単位として用いられる名詞は通常、被定語となる。例 чашка чая (茶の一碗)

中国語では他の名詞と結びついて測定単位として用いられる名詞は通常、定語となる。例 一碗茶 (чай в количестве одной чашки, 一碗の量の茶) ここでも定語が被定語に先行するという規則は破られていず、ロシア語とは別の表現が行われている。

上記のシンタックス上の特性、定語は被定語に先行する、によって中国語の単語は余分の文法的構成なしで定語の機能を果すことができる。

例文

1. 这是什么? Это что такое?
2. 这是什么书? Это какая книга?

だが多くの場合、補助詞、的が用いられそれによって文法的構成がなされる。例えば、儿子的先生。補助詞、的は同時に二つ以上の定語に用いることができる。例えば、反帝、反封建的革命任务已经完成, この場合、一つの被定語に関係する二つの定語は接続詞によって結びつけられてよい。例えば、国际和国内的形势都对我们有利。Международное и внутреннее положение благоприятствует нам.

§ 28 中国語では定語は次の品詞で表わすことができる。

- a) 名詞 普通名詞も固有名詞も両者とも定語の機能

を果すことができる。

例文

1. 这是父親的東西。Это вещи отца.
2. 中国的領土广大。Территория Китая обширна

名詞によって表わされる定語は物主的な意味及び相対的にそのような特徴を有するという意味を持っている。

例文

1. 这是母親的相片。Это фотография матери.
2. 这就是真正的人民战争。Это и есть подлинную народную войну.

定語の機能を果している名詞は後置詞と共に使われることができる。例えば、卓子上的书不是我的。物主的な意味を持って定語の意味を果している名詞は通常、補助詞、的を伴って使われる。後置詞を伴う名詞は定語として使われるが、又、補助詞、的を伴っても使われる。相対的特徴の意味を持つ定語の役割を果している名詞については、それは通常、付加的な文法構成をとらない。

- b) 数詞 個数詞も順序数詞も両者とも定語の役割を果すことができる。

例文

1. 他有两本书。Он имеет две книги.
2. 这是第一课。Это первый урок.

個数詞は定語として用いられる際、通常、量詞又は測定単位を表わす名詞と共に用いられる。

例文

1. 这里有两把椅子。Здесь имеется два стула.
2. 她买了三斤肉。Она купила три «чзиня» мяса.
3. 我喝了一碗茶。Я выпил одну чашку чая.

ある少数の場合、定語の役割を果す個数詞が量詞なしで使われることがある。例 六国已締結条約。

定語の役割を果す順序数詞は量詞を伴っても、又無しでも使われる。

例文

1. 这是第五课。Это пятый урок.
2. 第三个人是车同志。Третьим был товарищ Чэ.

定語の役割を果す数詞は的とは決して共に用いられない。

- c) 形容詞 定語の機能を果す形容詞は二様に用いられる。的と共に及び的なしで。

例文

1. 这是紅的铅笔。Это красный карандаш.
2. 大家都高举着红旗。Все высоко (над головой) держали красные флаги.

形容詞に程度の副詞又は否定詞がついている時は通常、的が伴われる。

例文

1. 这是最大的房子。Это самый большой дом.
2. 这里不大的房子很多。Здесь много небольших домов.

d) 代名詞 定語の機能を指示、物主、疑問、定、不定代名詞が果すことができる。

例文

1. 那个本子很小。Та тетрадь маленькая.
2. 这是谁的本子。Это чья тетрадь?
3. 我的本子很大。Моя тетрадь большая.
4. 每一个学生有本子。Каждый ученик имеет тетрадь.
5. 那个小学生有几个本子。Тот ученик имеет несколько тетрадей.

定語の機能を果す指示代名補は通常、量詞と共に用いられる。又量詞の無い場合もある。例 我担保蔣甫一定不赞成你这提议 (茅盾) 血族の単語や個々の人、人間の集合を表わす単語の定語となる物主代名詞は接尾辞、的を持たないことができる。

例文

1. 我父親当过教員。Мой отец был преподавателем.
2. 我国人民正在实现第六个五年计划。Народ нашей страны претворяет в жизнь шестой пятилетний план.

e) 動詞 接尾辞を持つ動詞持たない動詞、両者とも定語の機能を果すことができる。

例文

1. 昨天来的人是我的哥哥。Вчера приехавший человек—мой старший брат.
2. 规范化了的文学語言将要更好地為人民服務。Нормализованный литературный язык будет еще лучше служить народу.

定語の役割を果す動詞は一般に、的を伴って用いられる。

e) 副詞 定語の機能を種々の副詞が果すことができる。

例文

1. 我们需要一定的条件。Нам нужны определенные условия.
2. 这不过是偶然的遇見吧了。Это всего лишь случайная встреча.

定語として機能する副詞は通常、的を伴って使用される。

(注 このテーマの続きは §§50-52 を見よ)

場所を示す状況語

§ 29 ロシア語では場所を示す状況語は副詞又は前置詞付き又は無しの斜格の名詞で表わされる。中国語では場所の状況語は次のものによって表わされる。

a) 副詞 (§107-108 を見よ)

b) 介詞、名詞、後置詞からなる特別の表現。

空間上の関係を表わすのに用いられる表現を場所を表わす状況語という。

文型

場所を表わす状況語			述	補
介詞	名詞	後置詞		
在	教室	里	有	一块黑板

§ 30 場所を表わす状況語の中の介詞は基本的な空間上の関係を表わしている：事物の存在の場所、行為の遂行の場所、行為の方向、行為の空間的範囲。介詞として次の語が使われている。

1. 在—в (каком либо месте)
2. 到, 上, 向, 往, 朝—к (какому-либо месту)
3. 从, 打—от (какого-либо места)
4. 到—до (какого-либо места)

中国語では介詞は動詞から派生したもので、介詞の元の動詞は文中で通常、述語の機能を果している。

例文

1. 他在城里 (在は動詞で述語の機能を果している)。
2. 他在城里住 (在は介詞で場所を表わす状況語の中の一語である)

(状況語に使われている文語の介詞は §112 に示されている)

§ 31 状況語の中にある後置詞は介詞によって表わされる基本的な空間関係を明確化している。後置詞の機能は次の語が果している。

1. 上, 上头, 上面, 上边
2. 下, 下头, 下面, 下边, 底下
3. 前, 前头, 前面, 前边, 跟前, 面前
4. 后, 后头, 后面, 后边
5. 外, 外头, 外面, 外边
6. 里, 里头, 里面, 里边
7. 旁, 边, 旁边
8. 中, 間, 中間, 当中, 当間
9. 对面, 对过
10. 内, 以内
11. 周围

中国語の後置詞は名詞から派生している。後置詞には単音節(上)、二音節(上边)、三音節(上边儿)がある。二音節、三音節は時々、副詞の意味で使われている。

例文

1. 里头有東西。Внутри имеются вещи. (里头は副詞で、場所を表す状況語の機能を果している。)

2. 屋子里头有東西。В комнате имеются вещи. (里头は後置詞で、場所を表す状況語の一部になっている。)

頭、面、边は著じるしくもとの意味を失って多音節後置詞を構成する接尾辞となっている。

§ 32. 中国語では種々の空間的關係は副詞又は次のような手段によって表わされている。

a) 物の所在地は通常、在、名詞、後置詞で表わされる。

例文

1. 书在桌子上。Книга (находится) на столе.
2. 本子在书底下。Тетрадь (находится) под книгой.
3. 花园子在房子前头。Сад (находится) перед домом.
4. 菜园子在房子后头。Огород (находится) за домом.
5. 我们的学校在城里头。Наша школа (находится) в городе.

6. 他们的工厂在城外头。Их завод (находится) за городом.

7. 铺子在我们的房子旁边。Магазин (находится) рядом с нашим домом.

8. 那只船在河当中。Та лодка (находится) на середине реки.

9. 他们的房子在学校对过。Их дом (находится) напротив школы.

東西南北によって物の所在を示すさい次の語が使われる。

1. 以东 к востоку
2. 以南 к югу
3. 以西 к западу
4. 以北 к северу
5. 東北 к северо-востоку
6. 西北 к северо-западу
7. 東南 к юго-востоку
8. 西南 к юго-западу

これらの語は後置詞と同じく名詞の後に置かれる。

例文

1. 北京在万里长城以南。Пекин находится к югу от Великой китайской стены.

2. 这个村子在城市東北。Эта деревня находится к северо-востоку от города.

一つの物と他の物との距離を表わすに、動詞、离、名詞、後置詞が使われる。

例文

1. 这个村子离城里很近。Эта деревня находится близко от города.

2. 那个村子离城里有三里。Та деревня находится в трех «ли» от города.

中国語では相対的(很近)又は絶対的(三里)距離を表わす語は常に文の終りに置かれる。絶対的距離を示す場合、数量詞の前に有が置かれる。又数量詞の後には次の語の一つが置かれることができる: 路, 地, 远

b) 動作が行われる場所は前置詞, 在, 名詞, 後置詞によって示される。

例文

1. 他在小学里念书。Он учится в начальной школе.

2. 车同志在铁路上作工。Товарищ Чэ работает на железной дороге.

3. 我在城外住。Я живу за городом.

4. 觉民立在他底旁边。Цзюэ-минь стоял рядом с ним.

5. 五十岁上下的女人站在我面前。Женщина в возрасте около пятидесяти лет стояла передо мной.

6. 在这三个青年的面前立着那美妙的前途。Перед этими тремя молодыми людьми открывались прекрасные перспективы.

7. 在课堂里許倩如恰和琴同坐在一张桌子后面。В классе Сюй Цянь-жу как раз сидела за одним столом с Цинь.

8. 我们应当团结在他周围。Мы должны сплотиться вокруг него.

c) 動作の方向は前置詞, 到, 上, 向, 向着, 往, 朝, 从, 打, 名詞, 後置詞で表わされる。

例文

1. 他们上城里去了。Они отправились в город.

2. 我们刚刚从城里回来了。Мы только что вернулись из города.

3. 我打家里来了。Я пришел из дома.

4. 觉慧从祖父底房里出来。Цзюэ-хуэй вышел из комнаты деда.

5. 他从城里搬到乡下来住。Он из города переехал жить в деревню.

6. 你们把这张桌子搬到他的屋子里去。 *Перенесите этот стол в его комнату.*

7. 你把华语课本从书柜里拿出来。 *Вань из шкафа учебник китайского языка.*

8. 你们要从那所房子旁边走过去。 *Вам следует пройти мимо того дома.*

9. 她决定不顾一切向着新的路走去。 *Она решила, невзирая ни на что, пойти по новому пути.*

誰かの方へ向かう運動の方向を示す場合、中国語はこの人物を表わす名詞又は代名詞の後に場所の副詞を置かなければならない。通常、この場合、这里、这边、这儿、那里、那边、那儿が使われる。

例文

1. 他到郭同志那里去了。 *Он ушел к товарищу Го.*
2. 我常常到他那里去。 *Я часто бываю у него.*
3. 他从我这里到学校里去了。 *От меня он пошел в школу.*
4. 他们先到琴那里去。 *Они сначала пошли к Цинь.*
5. 现在太冷，你夏天到我们这里来。 *Сейчас очень холодно. Ты летом приезжай к нам.*

場所の状況語で動作の方向を表わすさい状況語が述語の後に来る場合、到だけではなく在も使われる。

例文

1. 千条线，万条线，落到水里，看不见。 *Тысячи нитей, десятки тысяч нитей упали в воду, не видно их.*
2. 那把马上滑落在水里了。 *Вело моментально ускользнуло в воду.*

d) 運動の空間的範囲。運動の始発点を表すには从や打が使われ運動の終点を表すには到が使われる。

例文

1. 从火车站去要坐十号电车。 *От вокзала нужно ехать трамваем номер десять.*
2. 到学校里去你可以坐无轨电车。 *До института ты можешь ехать на троллейбусе.*
3. 从这个村子到那个村子去要走半点钟就可以到。

От этой деревни можно пройти до той деревни за полчаса.

§ 34 構成要素の中に前置詞と後置詞を持っている完全な型の場所の状況語と並んで、短い型のものも存在する。後者は次の場合に使われる。

a) 場所の状況語が文の始めに置かれる場合、前置詞なしで用いられる。

例文

1. 墙上挂着一张地图。 *На стене висит географическая карта.*

2. 床上躺着小孩。 *На кровати лежит ребенок.*

b) 自分の中に場所の観念を有している名詞、又自身が地理的名称である名詞はしばしば後置詞なしで用いられる。

例文

1. 在中国我待了十年。 *В Китае я пробыл десять лет.*
2. 他们到树林子去了。 *Они пошли в лес.*
3. 他站在门口。 *Он стоял у входа.*

§ 34 文中で場所の状況語は種々の場所を占めることができる。それはしばしば主語と述語の間に入る。同時に又場所の状況語は主語の前にも、述語の後にも置くことが可能である。述語の後に場所の状況語が置かれるのは主として非複合動詞の場合であるが、複合動詞が定語の関係にある場合や連合の関係にある場合にも可能である。

場所の状況語が主語と述語の間にある場合、その中の介詞構造は補助的述語の役割を果している。(文型では主要な述語を C₁、補助的述語は C₂ とする) 場所の状況語が主語と述語の間にあり、述語に否定詞がついている場合は否定詞は主要な述語の役割を果している動詞の前ではなく、状況語の中の介詞の前、即ち補助述語の前におかれる。

例文

1. 他不在城里住。 *Он не живет в городе.*
2. 我今天不到哪里去。 *Я сегодня никуда не пойду.*

(続く)